

## コラム 11

# 除隊兵士訓練受講生へのインタビュー

## 大和田美香



セリーナ・クアさんはジュバに住む元兵士の女性で当時 42 歳。かつては、SPLA に所属し、兵士のために料理を作ったり、負傷した兵士の手当をしたりしていた。紛争が終結し、兵士の除隊がはじめられるなかで、セリーナさんは一緒に住む家族のために、そして地域のために、手に職をつけて働きたいと感じていた。

そんな時に、JICA の除隊兵士向けの職業訓練事業を知り、応募した。訓練では、調理コースを選択し、調理の基本やキャリアプランニングについて学んだ。カリキュラムの一環である職場実習では、ジュバ市内のレストランで実習し、仕事に必要な知識と技能を知ることができたという。訓練では、同じく除隊兵士である友人や、一般の訓練参加者である仲間とともに教え合い、励まし合いながら大いに学んだ。3 ヶ月間の訓練を終え、修了証書を手にしたセリーナさんは、「無事訓練を終えることができ、本当にうれしい。ここで得た技能を生かして、自分の近所で小さくても良いのでレストランを開きたい」とこれからの新しい生活の抱負を語った。

(インタビュー：2009 年 12 月)